

M2M/IoTソリューション CONPROSYS AirGRIDとの接続

2017年9月11日
株式会社コンテック

1

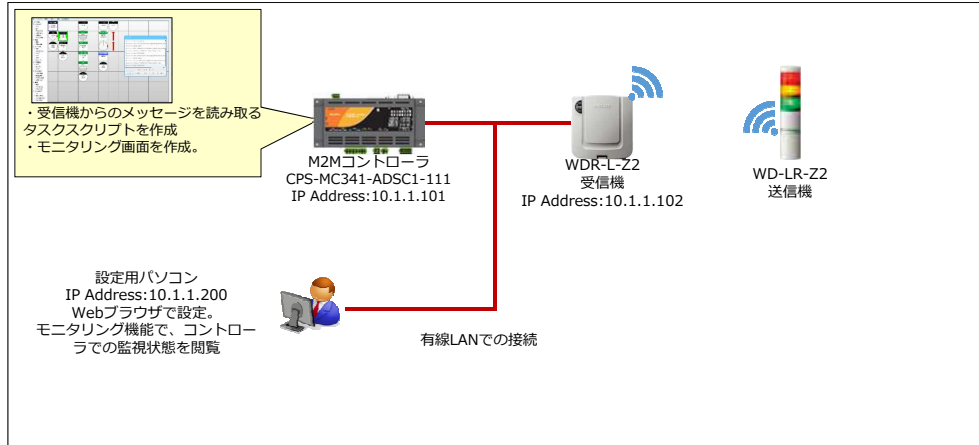
接続確認機材一覧

品名	型式	メーカー	シリアル番号
受信機	WDR-L-Z2	パトライト社製	165172
送信機	WDT-5LR-RZ2	パトライト社製	58C232FFFE576754
M2Mコントローラ	CPS-M341-ADSC1	CONTEC	FKRKS19000114
ネットワークハブ	—	—	—
ノートPC	—	—	—

接続状態

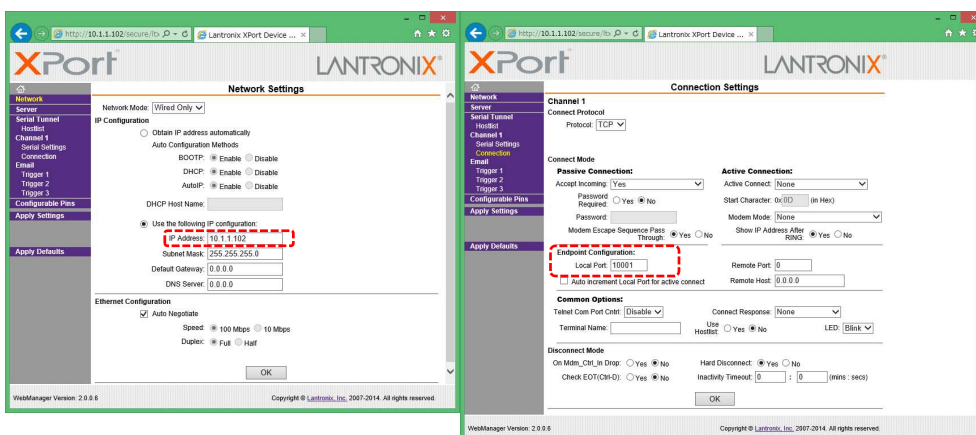
概要

受信機WDR-L-Z2とM2Mコントローラ、パソコンを有線LANで接続。
受信機からパトライト切り替え時に通知されるメッセージをよみとり、各色の点灯状態を取得し、M2Mコントローラのモニタリング（Web）画面に表示します。



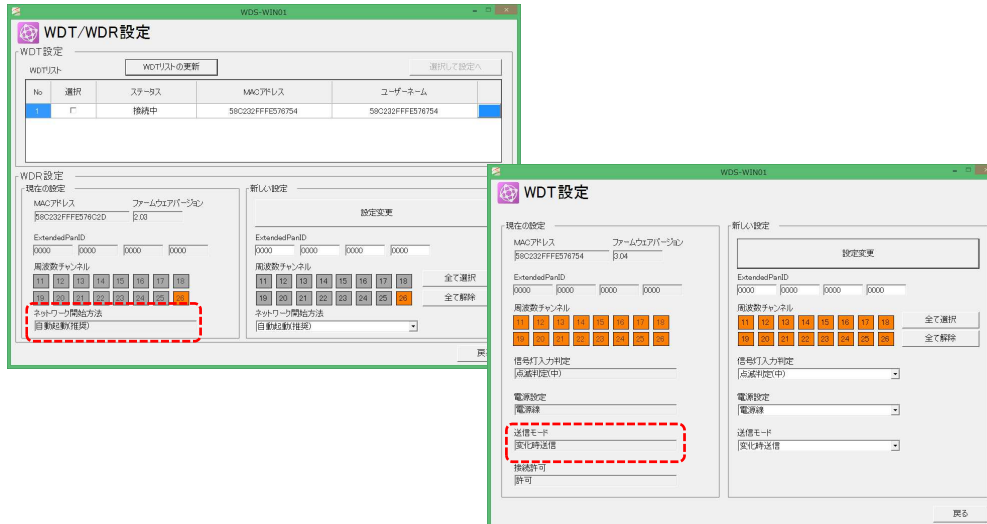
WDR-L-Z2 受信機設定状態

受信機のIP Address と ポート番号の設定状態を確認。



WDR-L-Z2 受信機設定状態

受信機WDRとWDT（パトライト本体）の設定状態。
ネットワーク開始方法、送信モード：変化時送信

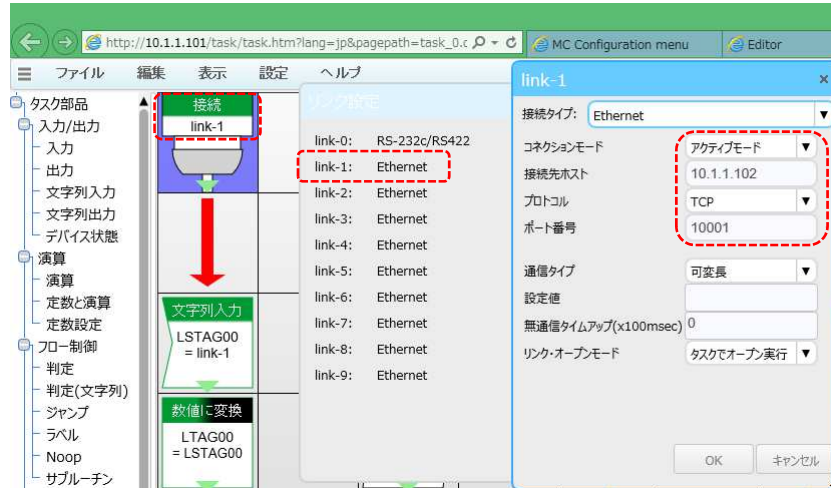


タスクの復元方法

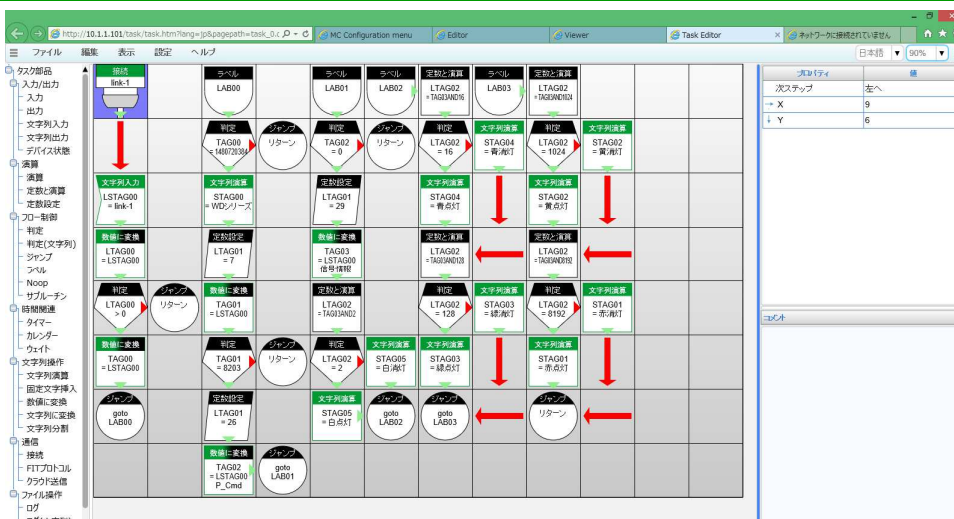
- ①タスク編集画面より[ファイル]—[ローカルディスクから開く]を選択します。
- ②ダウンロードしたファイルを展開したフォルダから「xxxxxxx.dat」を選択し、[開く]をクリックします。

タスクの復元方法

②[設定]－[リンク設定...]を選択し、[リンク設定]画面の[link-1]の[詳細]をクリックして下図のように設定します。



タスクの規模



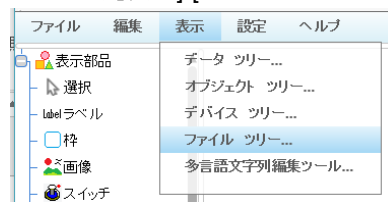
5色の表示灯1台の点灯・消灯状態を取得するタスクの上記の規模です。
1タスク1台の表示灯の情報を取得すれば、表示灯10台程度の規模のデータ取得が可能です。
点滅情報を取得するのであれば、タスクが増大するので、表示灯5台程度までと考えられます。

TAGの割り当て

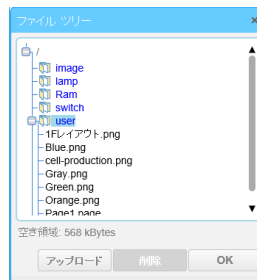
TAG	TAGの意味	
TAG20	赤の点灯状態	1:点灯、0:消灯
TAG21	橙の点灯状態	1:点灯、0:消灯
TAG22	緑の点灯状態	1:点灯、0:消灯
TAG23	青の点灯状態	1:点灯、0:消灯
TAG24	白の点灯状態	1:点灯、0:消灯
TAG25	表示灯の全体スタートス	1:赤点灯、2:橙点灯、3:緑点灯、4:青点灯 5:白点灯 同時に点灯する場合、数字が小さい値がセットされます。

モニタリング画面の復元方法

- ①モニタリング編集の画面より[表示]-[ファイル ツリー...]を選択します。











- ②ファイルツリーの画面で[user] フォルダを選択して[アップロード]をクリックします。



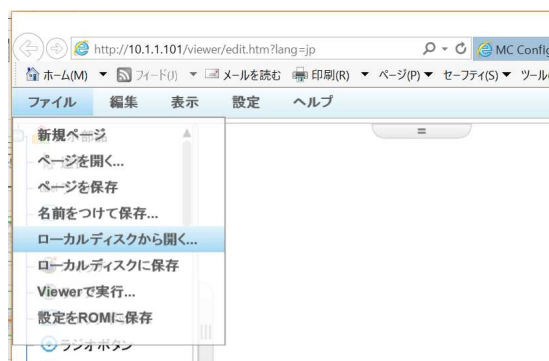
モニタリング画面の復元方法

④[アップロードするファイルの選択]が表示されるので、ダウンロードしたファイルを展開したフォルダから以下のファイルを1つずつアップロードします。

-  1レイアウト.png
-  Blue.png
-  cell-production.png
-  Gray.png
-  Green.png
-  Orange.png
-  Red.png
-  White.png

モニタリング画面の復元方法

⑤モニタリング編集の画面より[ファイル]-[ローカルディスクから開く...]を選択します。



⑥ダウンロードしたファイルを展開したフォルダから「xxxxxxx.page」を選択し、[開く]をクリックします。

モニタリング画面の構造

レイヤー名:工場1F

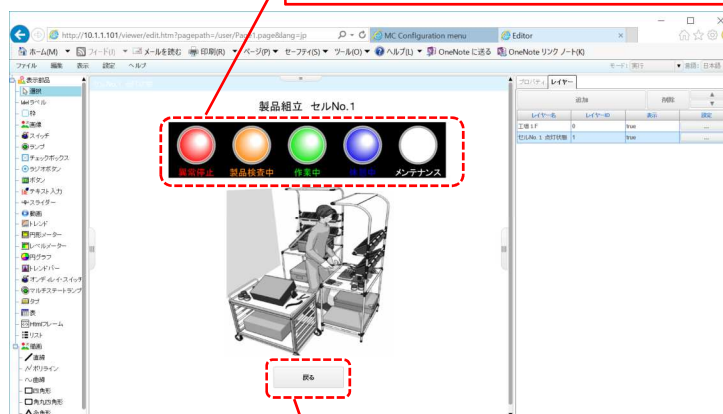
この表示色の四角形の画像をマルチステートランプとしてアップロードしLEDの点灯状態を表示します。透明色にしたボタンを重ねており、クリックするとレイヤーが次頁の「信号点灯状態」に遷移します。



モニタリング画面の構造

レイヤー名:セルNo.1 点灯状態

マルチステートランプ5つ配置して各色の点灯状態を表示します。



戻るをクリックすると「工場1F」のレイヤーに遷移します。